

電力先物市場の在り方に関する検討会の開催について

平成 29 年 1 2 月
商務・サービスグループ
参事官室（商品市場整備担当）

1. 背景・趣旨

- (1) 2016年4月に電力の小売全面自由化が行われたことに伴い、小売電気事業者にとって重要な電力の調達源である卸電力市場の更なる活性化が喫緊の課題となっているとともに、2020年4月以降には低圧需要家向けの小売料金規制の撤廃が可能となる中、公正・透明な価格指標の形成や卸電力価格の変動リスクのヘッジ等に有効な電力先物市場を整備することが重要である。
- (2) 電力先物市場については、2015年に、「電力先物市場協議会」において電力先物市場の方向性について取りまとめを行った。その後2年程度が経過し、その間、東京商品取引所による電力先物の模擬売買が実施され、また、現在、電力システム改革の実現に向けて議論が進行中である。
- (3) 電力関係事業者による電力先物取引に対するニーズの変化を踏まえ、今後の卸電力取引の変化も見据えた先物市場を設計する必要があることから、卸電力取引等の電力市場の全体像と整合の取れた先物市場に関する議論を行うこととする。

2. テーマ

- (1) 商品先物取引について（電力取引において商品先物取引の果たす役割等）
- (2) 電力先物市場の設計内容 等

3. 検討会及び配付資料等の公開について

- ・本検討会は非公開とする。
- ・検討会の議事概要は、事務局が作成し発言者に確認した上で公開する。
- ・配付資料は原則公開とする。ただし非公開情報が含まれる場合、事務局が資料提供者と相談して対応を決定する。

4. 今後のスケジュール

本年12月に第1回開催。4回程度開催し年度内に報告書を取りまとめる。

5. 委員

別紙参照。